

「在宅療養を支える
訪問看護師の現状」
～看護職員の確保対策～

2009.9.28.

(社)南区医師協会南区メディカルセンター

訪問看護ステーション

管理者 高砂裕子

訪問看護ステーションの現状^{2,3)}

- 人材確保が困難
- 4. 2人看護師、利用者数約52人
- 所要時間、平均123分
- 滞在時間：65分、滞在外時間：58分
- 医療保険2：介護保険8⇒3：7、医療保険、介護保険の双方からサービスを提供している
- 看取り実施率：9割、5.67人/年
- 全国の47.1%の市町村に設置されていない

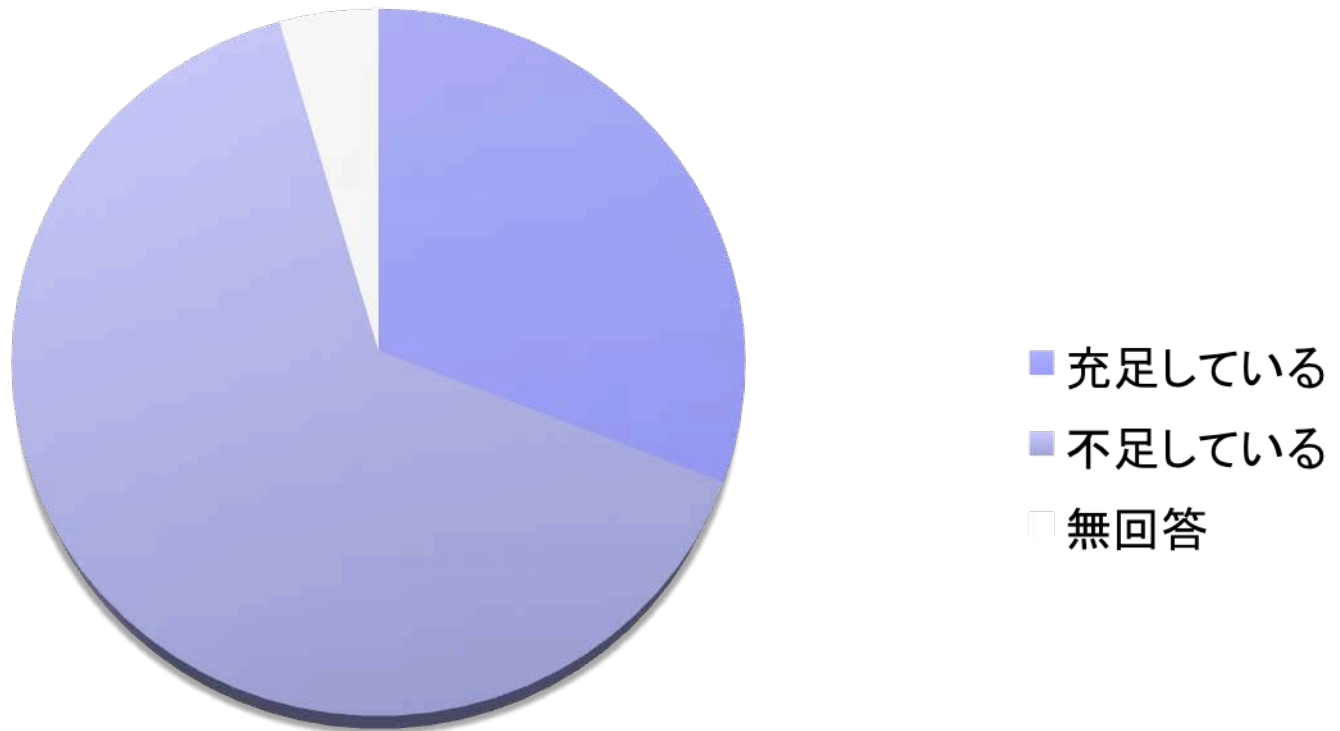
訪問看護ステーションの現状²⁾

- 都道府県調査結果
- 訪問看護サービスの必要量を推計する手法が確立されていない
- 行政側で支援できる手段が限られている
- 訪問看護師不足
- 訪問看護ステーションの経営赤字や休止・廃止の問題
- サテライト事業所の整備促進、開設に伴う設備整備への補助金
- 地域関係機関（病院等）との連携推進のための研修の実施やケアチームづくりのための支援

南区メディカルセンター 訪問看護ステーションの現状

- 平成7年2月1日開所
- 看護師5人⇒看護師19人、PT1人、OT1人
- 170人・1000件/月、5.8回／月、2回～40/回
- 健康管理、服薬管理、清潔の援助、創傷処置、機器の管理、介護者支援、他機関との連携
- 居宅介護支援事業所との併設(ケアマネジャー兼務9人)

看護職員の充足状況¹⁾



看護職員の退職率¹⁾

項目	平成18年度	平成19年度
看護職員総数(a)	1208	1307
退職者総数(b)	228	275
退職率(b/a)	18.9%	21.0%
常勤看護職員総数(c)	598	665
常勤看護職員退職者総数(d)	104	108
常勤退職率(d/c)	17.4%	16.2%
非常勤看護職員総数(e)	610	642
非常勤看護職員退職者総数(f)	124	167
非常勤退職率(f/e)	20.3%	26.0%

訪問看護ステーションにおける人材確保・ 定着に関する実態調査¹⁾

- 「看護の魅力を伝える」と「働きつつげられる職場づくり」を支えるもの
- 訪問看護のPR
- 教育・研修体制の確立
- 子育て支援復職支援等、看護職員確保対策の強化
- 管理運営のサポート
- 連絡・相談窓口の設置
- 制度の改善

訪問看護師の定着に関する課題と 今後の体制整備に向けたニーズ¹⁾

- 定着に関する課題
- 労働条件にみあった雇用条件の改善
- 訪問看護を実践する上でのスタッフの負担感
- 教育研修体制の確立
- 慢性的な忙しさからくる疲労感・ストレス・腰痛

訪問看護師の定着に関する課題と 今後の体制整備に向けたニーズ¹⁾

- 課題解決のために管理者が必要と考えていること
- 訪問看護師のやりがいを支える教育・サポート体制づくり
- 働きやすい環境(職場風土)づくり
- スタッフ・管理者の負担を軽減する体制づくり
- ワークライフバランスが取れる職場体制づくり
- 給与等の改善と経営管理に関する工夫
- 地域・他機関との連携

訪問看護師の確保・定着への対策の実際

- 随時募集、面接や相談の機会（メール・電話）
- 毎月全員参加でのカンファレンスの実施
- 研修計画の作成と目標達成支援
- 働きやすい環境（職場風土）づくり
- スタッフの負担を軽減する体制づくり
- ワークライフバランスが取れる職場体制づくり
- 給与等の改善と経営管理に関する工夫
- 地域・他機関との連携

参考・引用文献

- 1) 訪問看護ステーションにおける人材確保・定着に関する実態調査報告書：神奈川県保健福祉部地域福祉部地域保健福祉課，平成20年度在宅医療（訪問看護）推進支援事業，2009年3月
- 2) 医療経済研究機構：「訪問看護の安定的提供体制のあり方に関する研究」，2009
- 3) 日本看護協会：「訪問看護事業者数の減少要因の分析及び対応策のあり方に関する調査研究事業」，2009